

(日)

## 恵みの測りなわ

詩編一六編

主はわが受くべき分、わが杯。あなたこそ、私のくじを決める方。測り縄は美しい地に落ち　私は輝かしい相続地を受けました。(5、6)

神に信頼し、神と共に歩む人生がいかに豊かであり幸いであるかを歌っている詩です。今日の聖句は、主をわが嗣業として、相続地として信頼して生きる人生がいかに幸いであるかを語っています。「測り縄」とは、土地を分割するときに正確に長さを測るための道具です。詩人はその言葉を言いながら、主が私の人生に描いてくださった設計図は寸分の狂いもなく正確であったと述べます。永遠を見通す神が、最善の測り縄をもって私の人生に臨んでくださったと感謝します。神に信頼して間違いがなかった！という喜びの告白です。私の人生、神は測り間違えたのではないか？と思っている人はいないでしょうか。たとえ今は最善だとは思えなくても、神に信頼し続けていくときに、「確かに、主の測り縄は私のために美しい地に落ちた」と喜びをもって賛美するときに来ることでしょう。